

専門分野・成人看護学 授業計画

授業科目及び時間数	経過別看護 1単位 30時間		
開講時期	2年次 前期		
担当教員	黒川みゆき・萱場健雄 横山礼・渡邊美佐子	実務経験	有
<p><科目のねらい> 本授業では、経過別看護として急性期・周術期・リハビリテーション期・慢性期・終末期における患者や看護の特性、必要なケアについて学ぶことをねらいとする。</p> <p><到達目標> 1. 患者を健康段階の変化の過程にある存在として捉え、各経過における看護の特徴について理解できる。</p>			
授業計画・内容・担当教員			
1回目	1. 急性期にある患者の看護 1) 健康生活の急激な破綻から回復を促す看護	講義・グループワーク (萱場)	
2回目	2) 健康生活の急激な破綻 3) 急性期にある人の看護		
3回目	1. 救急看護 1) 救急看護の概念 2) 救急看護の対象の理解 3) 救急看護体制と看護の展開 4) 救急患者の観察とアセスメント	講義 (萱場)	
4回目	1. 集中治療を受ける患者の看護 1) 集中治療・看護の概念と役割 2) 集中治療室 3) 集中治療における看護の実際	講義 (萱場)	
5回目	1. 周術期にある患者の看護 1) 周術期看護の概論	講義 (横山)	
6回目	2) 手術全患者の看護 3) 手術中患者の看護		
7回目	1. 周術期にある患者の看護	講義・グループワーク (萱場)	
8回目	1) 手術後患者の看護		
9回目	1. リハビリテーション看護 1) リハビリテーション看護概論	講義 (黒川)	
10回目	2) リハビリテーション看護の定義と専門家 3) リハビリテーション看護の対象 4) リハビリテーション看護の方法		
11回目	1. 慢性期にある患者の看護 1) 慢性病患者の理解		
12回目	2) 慢性病との共存を支える看護実践	講義 (黒川)	
13回目	1. 終末期にある患者の看護 1) 緩和ケアの現状と展望	講義 (渡邊) 緩和ケア認定看護師	
14回目	2) 緩和ケアにおけるチームアプローチ 3) 緩和ケアにおけるコミュニケーション 4) 緩和ケアにおける倫理的課題 5) 全人的ケアの実践		
15回目	終了試験		
評価方法	筆記試験 100% (横山 15% 渡邊 15% 萱場 40%・黒川 30%)		
受講生に対するメッセージ	この授業は、3年次の成人・老年看護学実習Ⅰ・Ⅱにつながる授業である。学んだことを実習で活用できるように、積極的に授業に取り組んで欲しい。		
テキスト	系統看護学講座 専門分野 成人看護学総論 医学書院 系統看護学講座 別巻 救急看護学・臨床外科総論・リハビリテーション看護・緩和ケア 医学書院		
参考書	系統看護学講座 専門分野 臨床看護総論 医学書院 系統看護学講座 別巻 クリティカルケア看護学 医学書院		